

## 生活交通確保維持改善計画

### 目的・必要性

対象路線の沿線地域には主要な公共施設や病院、商業施設、高等学校がなく、また、市中心部からも遠いことから、自家用車を持たない住民にとって対象路線は通学、通院、買い物等のために市中心部へ移動する唯一の手段であり、その維持確保が必要とされている。コミュニティバスなどを維持確保し、地域間交流による市全域の活性化を図り、持続可能な公共交通システムを構築することを目的とする。

### 確保・維持する系統の概要

#### 【地域内フィーダー系統】

##### 尾花沢市営路線バス

- ・運行事業者: 尾花沢市
- ・系統数: 4系統
- ・運賃: 100円(高齢者、18歳以下、障害者など無料)
- ・運行日: 毎日

##### 牛房野・五十沢生活交通タクシー補助

- ・運行事業者: (株)尾花沢タクシー
- ・運賃: 600円
- ・運行日: 土日祝日運休

### 事業・実施主体

- ・地域公共交通会議などで、運行の見直し改善を協議する。(尾花沢市)
- ・利便性を高め利用促進や改善を図る。(尾花沢市)
- ・県地域公共交通情報共有基盤へのGTFS-JP等のデータ提供。(尾花沢市)

### 定量的な目標・効果

#### 【目標】

年間輸送人員34,000人、収支率0.7%、市負担額5,000万円以内

#### 【効果】

- ・対象路線を維持することで、通院や通学、買い物など日常生活に必要な移動手段が確保される。
- ・地域間幹線や他の路線とを結節させることで広域的な運行体系が確保される。
- ・高齢者の外出機会増大や地域間交流の促進による地域活性化に繋がる。
- ・各地域の人口流出を防ぎ、自治会、コミュニティが維持され、空き家等による問題発生への抑止に繋がる。

### 基礎データ

合併状況: 無し  
面積: 372.53平方km  
協議会開催数: 協議会4回(令和3年10月～令和4年9月)

人口: 14,971  
高齢化率: 36.74

### 前回の評価結果

令和3年度からの新規事業のため、前回事業評価無し

## 評価項目

### 実施状況、目標・効果の達成状況

#### 【実施状況等】

コミュニティバスについては、時刻表の全戸配布や、わかりやすいバスサイン、住民が利用しやすい経路変更など利便性の向上、利用者への周知を行い、タクシー補助については、継続した啓発活動により新規利用者の拡大に努めたが、コロナ禍の影響により減少した利用者は回復しなかった。

#### 【実績】年間輸送人員: 20,247(達成率59.6%)

収支率: 0.4%(達成率57.1%)

市負担: 5,100万円(達成率98.0%)

#### ※評価の判定基準

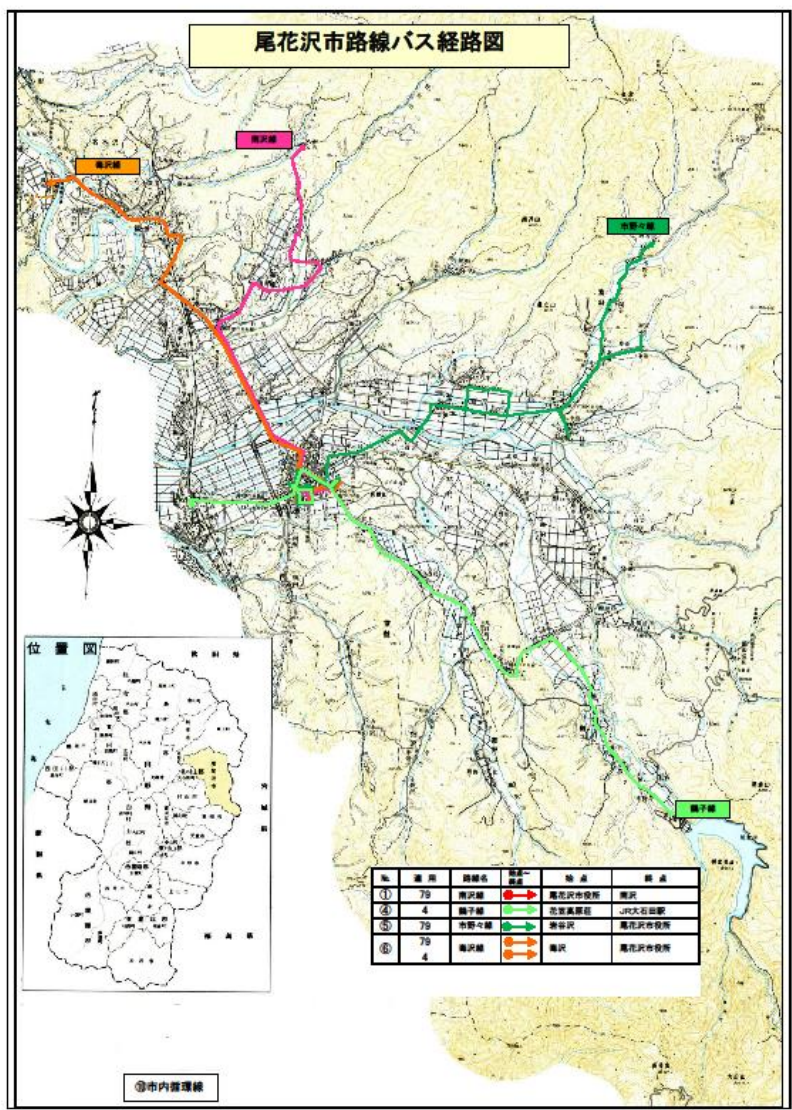
- ・A ⇒ 目標達成100%以上
- ・B ⇒ 目標達成80%以上100%未満
- ・C ⇒ 目標達成80%未満、又は、補助対象外(1運行当たり2人未満、運行割合30%未満)

### 事業の今後の改善点

急速な高齢化及び高齢者のみ世帯の増加により、ニーズも急激に変化している。そのニーズの変化に対応した公共交通とするためニーズ調査や利用者・地域住民との意見交換を活発に行い、合わせてダイヤ改正やタクシー券の電子化など利便性を向上させ、多くの人に望まれる公共交通とする。

# 山形県(尾花沢市)地域公共交通活性化協議会

## 尾花沢市コミュニティバス運行系統図



# 山形県(尾花沢市)地域公共交通活性化協議会

## タクシー補助対象地区(旧五十沢線・旧牛房野)

